

「農福連携の可能性」

ノウフク

講演会 in カミツレの里

●開催:2017年9月11日(月) 14時より

●会場:カミツレの宿 八寿恵荘(やすえそう)

「ノウフク」とは・・・

土と、人と、地域と、仕事と。
分断された結びつきを「福祉」を通して再生し、
地域の暮らしと経済づくりを支えたい。



その昔、日本人は多様な人と壮大な自然の中で、生産も消費もひとつながりに生きてきました。
農作物を育み、狩猟を行い、木を伐って、自らの手で衣服・家・燃料をつくる。
子ども、障がい者、女性、高齢者などさまざまな人が、それぞれの役割を持って働く。
個と家族と地域コミュニティが手を携え、暮らしも仕事も分断されることなくめぐる、持続可能な社会がありました。

現代は、どうでしょうか。分業と効率化によって農林水商工は分断され、暮らしの変化、消費の変化は
人と地域コミュニティまでもバラバラにしています。
資源や環境問題、失業、貧困の連鎖など表出する社会課題に、不安と息苦しさを感ずる人々が増え、
社会は活力を失いつつあるように感じます。

日本の古き良き結びつきを、現代に適した形で再生させたい。ノウフクPROJECTが手がける「農福連携」は、
その第一歩です。働く場としての農業と、働き手としての障がい者をつなぐこと。
そこから多様性に富んだ地域コミュニティを生み出し、日本の食、経済、暮らしを元気にしていきます。

※全国農福連携推進協議会ホームページより

農業と福祉の連携による新しい地域づくりを、共に探っていきませんか。
障がい者に農業が出来るのか、濱田氏に事例を挙げてお話しいたします。
皆様のご参加をお待ちしています。



講師プロフィール

●濱田健司氏

全国農福連携推進協議会 会長
1969年生まれ。東京農業大学大学院修了。農業経済学博士。
農福連携の第一人者、農林水産省農林水産政策研究所客員
研究員、「農」の機能発揮支援アドバイザー。
障がい者の就農に関する調査研究と意識啓発、助言、講演などの活
動を行う。農福連携に注目し、人間と自然の多様性、地域や人間関
係まで包括した共生・共創の『農生業』を提唱している。

●國松繁樹氏

全国農福連携推進協議会 幹事
1966年生まれ。一般社団法人日本基金代表理事。
株式会社ヒノモトデザイン代表取締役社長。
グラフィックデザイナー、クリエイティブデザイナーとして活躍、企業の
利益追求型広告から社会との関わりを重視するソーシャルマーケティ
ングを具現化する活動の一つとして農福連携ブランディングに携わる。

協力:全国農福連携推進協議会